

公園管理事業

Q 公園遊具の修繕は。

A **都市施設保全プロジェクトチーム** 主席主幹 公園遊具の点検をした結果、271か所の不具合があった。そのうち、82か所を応急的に修繕した。今後も危険度の高いところや修理が必要なものについては、順次修繕していく。



教育相談事業

Q 不登校やいじめの件数は。

A **学校教育課長** 24年度の不登校は、小学校で19人、中学校で30人いた。いじめは、小学校4件、中学校3件。そのうち、小学校1件が継続して指導中だが、それ以外は解決済みである。

特別支援教育推進事業

Q 在学児童生徒への就学検査の人数は。

A **教育センター** 所長 在学児童生徒48人を対象として精密検査を行った。個別指導・援助を必要とする児童生徒は、小・中学校特別支援学級等で63人。通常学級で個別の支援が必要と思われる児童生徒は85人となっている。ただ、その基準については、各学校の考えや判断で一律ではない。

心のオアシスづくり事業

Q さわやか相談員の勤務体系と相談内容は。

A **教育センター** 所長 勤務日は年間208日。1日5時間勤務となっている。相談は、小中学生とその保護者を含め750件あった。内容は、友人関係のトラブル、不登校、性格や心の問題、学業などがある。相談後の支援も組織的な対応ができるように取り組んでいる。

市民スポーツ施設管理事業

Q 市民テニスコートなどの修繕は。

A **市民スポーツ課長** 市民テニスコートの看板の修繕、コートの上、砂の購入、凍結防止剤の散布などを行っている。西サッカール場についてはトイレの配管修繕草刈りなどを実施している。

特別会計

国民健康保険

Q 徴収率向上対策として、今後の取り組みは。

A **収税対策課長** 現年度分の納付催告等を中心に行うとともに、財産調査を徹底し、調査結果に応じた差し押えを充実させていく。

Q 国民健康保険制度の広域化の現状は。

A **保険年金課長** 県単位での広域化が進められている。現在、標準賦課方式に合わせるため取り組んでいる。

Q 短期被保険者証の交付状況は。

A **保険年金課長** 25年9月1日現在、短期対象世帯は660世帯で、うち431世帯に交付している。

後期高齢者医療

Q 被保険者数と保険料の軽減状況は。

A **保険年金課長** 被保険者は、25年3月末現在5003人。保険料の軽減状況は、軽減割合で9割軽減の方が895人、8・5割軽減の方が590人、5割軽減の方が107人である。

介護保険

Q 介護予防事業の利用者を増やす手段は。

A **高齢者福祉課長** 元気な高齢者を対象とする一次予防事業と要支援、要介護状態となるおそれのある高齢者を対象とする二次予防事業がある。

介護予防事業では、こつこつ貯筋体操教室、水中運動教室などを実施している。教室の種類を拡大し、多くの方に参加いただくため、広く普及していく。

一本松土地区画整理事業

Q 24年度の保留地の処分内容と一般保留地の公売の方法について。

A **区画整理課長** 保留地の売却は23年度から開始し、本年度は付保留地として3画地を89平方メートル、一般保留地として1画地101平方メートル、合計で190平方メートルを

売却した。23年度、24年度の累計で516平方メートルとなり、処分割合は22・6割となった。一般保留地の公売は、公開抽せん方式により行った。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 24年度の保留地の処分内容と公売の予定について。

A **区画整理課長** 付保留地として、9画地140平方メートルを売却し、これまでの累計で181平方メートルとなり、処分割合は2・3割となった。25年度は、1画地の一般保留地の公売を予定している。



整備が進む若葉駅西口

特別会計決算

特別会計決算	
国民健康保険	
歳入	80億100万円
歳出	74億6302万円
後期高齢者医療	
歳入	4億3582万円
歳出	4億3394万円
介護保険	
歳入	28億9192万円
歳出	27億2282万円
一本松土地区画整理事業	
歳入	2億7049万円
歳出	2億3953万円
若葉駅西口土地区画整理事業	
歳入	4億6424万円
歳出	4億4744万円